

ほしぞら がつ がつ
星空のみどころ 8月～10月

がつ じち じち さりゅうせいぐん
●8月12日～13日ごろ ペルセウス座流星群

毎年お盆の時期に見られるペルセウス座流星群は、多い時で1時間に数十個の流れ星が現れます。8月12日の夜から13日の明け方に最も多く流れ星が現れます。

流れ星はいつどこに現れるかわからないので、望遠鏡などを使わず、肉眼で空のできるだけ広い範囲を眺めるのがコツです。今年は満月が夜空を明るく照らしているため、明るい流れ星しか見ることができません。条件は悪いのですが、晴れていたら夜空を見上げてみてください。



にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

がつ かと ちゅうしゅう めいげつ
●9月10日(土) 中秋の名月

旧暦の八月十五日に見られる月を、中秋の名月といい、お月見をする風習があります。今年は9月10日(土)です。

皆さんは、月でうさぎがお餅をついているという話を聞いたことがあると思いますが、これは月の灰色の部分でうさぎに見立てたものです。他の国では、カニやライオン、ロバ、本を読む女の子、女性の横顔など、いろいろな見方があります。お月見をしながら、月のもようが何に見えるか、想像をめぐらしてみてはいかがでしょうか



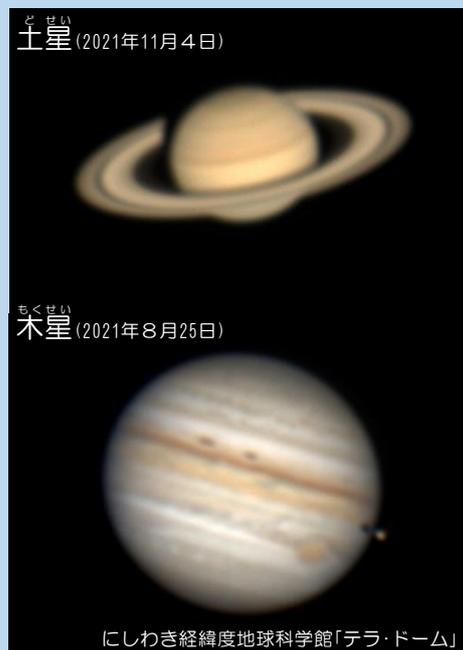
にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

がつ とせい もくせい み
●9月ごろから 土星・木星を見よう

9月になると、21時ごろの南の空に、黄色っぽく光る星が見えます。これが輪のある土星です。肉眼で輪を見ることはできませんが、40倍くらいの望遠鏡でも輪があることがわかります。そして、東の空の低いところにとっても明るく輝く星が見つかります。太陽系最大の惑星、木星です。望遠鏡では、表面のしま模様や、ガリレオ衛星という4つの衛星を見ることができます。テラ・ドームの夜のスターウォッチングでは、土星は8月下旬から11月ごろ、木星は9月下旬から1月中旬ごろまで見ることができます。



木星とガリレオ衛星
 ・カリスト
 ・ガニメデ
 ・イオ
 ・エウロパ



土星 (2021年11月4日)
 木星 (2021年8月25日)

にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

ほしぞら ほうせきはこ さ あみじょうせいろうん
星空の宝石箱③③ はくちょう座の網状星雲

網状星雲はとても淡く望遠鏡で見るとは難しい天体ですが、写真では、青と赤の筋状の星雲が入り組んだ、網のような姿がわかります。網状星雲は円の一部のような形をしています。これは、重い星が一生を終える時に起こす超新星爆発から球状に広がる爆風で吹き飛ばされたガスが光っているためです。星雲のまわりにあるたくさんの星は天の川の正体です。天の川は、目では見えないほど暗い星が無数に集まり、ぼんやりとした光の帯として見えているのです。



にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」



テラ・ドームみどころ紹介

小惑星リュウグウのサンプル(レプリカ)

小惑星探査機はやぶさ2は、小惑星リュウグウの探査を終え、2020年12月6日、リュウグウのかけら(サンプル)の入ったカプセルを無事に地球に届けることに成功しました。回収されたカプセルの中には、当初の予定である0.1グラムを大幅に上回る5.4グラムのサンプルが入っていました。現在、サンプルは世界中で分析が行われ、生命のもととなる水や20種類以上のアミノ酸などが含まれていることがわかってきました。

館内で展示しているサンプルのレプリカ(複製)は、JAXAはやぶさ2プロジェクトから提供されたもので、全国約200か所で展示されています。はやぶさ2が持ち帰ったサンプルの中で、3番目に大きいもので、実物大と10倍に拡大したものを展示しています。残念ながら実物ではありませんが、色や形は本物に近づけてありますので、ぜひリュウグウの世界を感じてみてください。



小惑星リュウグウ

©JAXA・東大ほか



リュウグウのサンプル

©JAXA



サンプルの大きさ

実物大 10倍



展示のようす

へそ公園周辺の植物

ツルボ(キジカクシ科)

日本全国の白あたりの良い草むらや河川敷の土手などで見られます。8月から9月ごろ、薄紫色の花を房状に咲かせます。球根のほか、種子でも増えるため、群生することが多いようです。テラ・ドーム近くの加古川の河川敷などでも見られます。園芸種のヒヤシンスやムスカリなどが同じキジカクシ科の植物です。



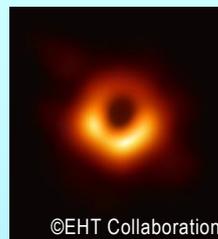
にしわざ経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

☆ブラックホールクイズ☆

第1問

ブラックホールの正体は？

- ①宇宙にあいた穴
- ②重くて小さい(密度が高い)星
- ③宇宙人が作ったトンネル



©EHT Collaboration

第2問

地球を圧縮してどのくらいの直径にしたらブラックホールになる？

- ①200km
- ②2km
- ③2cm

第3問

太陽が今の位置でブラックホールになったら、地球はどうなる？

- ①吸い込まれる
- ②放り出される
- ③何も起こらない

第4問

初めてブラックホールが見つかった星座はどれ？

- ①いて座
- ②おとめ座
- ③はくちょう座

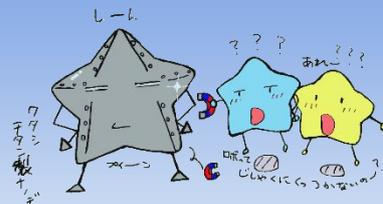




- 開館時間 10:00～18:00
- 休館日：月曜日・祝日の翌日(土日祝は開館)・12/29～1/3
- 入館料：大人400円・シルバー300円・学生200円・小中100円

「磁石であそぼう」展

くっついたりはなれたり、磁石はふしぎな性質を持っています。遊びながら磁石のひみつを探ってみよう！



- ★ 7月23日(土)から11月13日(日)まで
- ★ 場所：テラ・ドーム企画展示室
- ★ 入館料だけで見られます。

テラ・ドームギャラリー

地元で活躍するアマチュアの自然、風景の写真や絵画などを月替わりで展示します。

- ☆8月 「夜の灯火に集まる虫たち」展
- ☆9月 西岡洋「星景写真」展
- ☆10月 自然探索グループ写真展

土曜ちよこっとサイエンス

内容は週ごとに変わります。簡単な工作をしながら科学の不思議を体感しよう！

- ★毎週土曜日 11:30～・13:30～・15:30～
- ★定員は各回20名程度です。
- ★内容：空気とあそぼう(バルーンアート)、コットンボールであそぼうなど

テラ・ドーム星まつい

感染症対策のためステージイベント等は行わず、アマチュア天文家による観望会を行います。

- ★ 10月1日(土) 19:00～21:00
- ★ 場所：日本へそ公園芝生広場
- ※ 曇りや雨の場合は中止します

夏休み中の休館日について

テラ・ドームは月曜日と祝日の翌日が休館日ですが、8月12日(金)は臨時開館します。また、夏休み期間中は金曜日にも夜のスターウォッチングを行います。ぜひテラ・ドームで楽しい時間をお過ごしください。

子ども科学教室

身近な材料を使った実験や工作で科学のふしぎを体験しよう！入館料だけでご参加いただけます。(先着6組)



日曜・祝日 11:30～・13:30～・15:30～

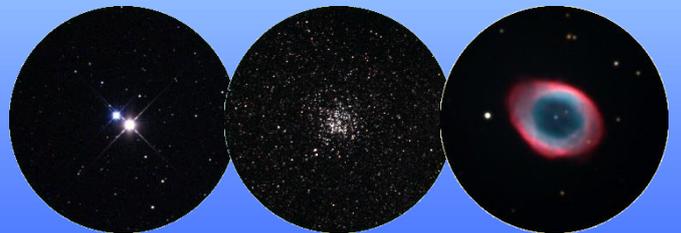
- 8/7・11 ふしぎ!?ういたりしずんだり
- 8/14・21 ストローロケットをとばそう
- 8/28・9/4 みんなぜみをつくろう
- 9/11・18 段ボールマグネットをつくろう
- 9/19・23 トコトココップをつくろう
- 9/25・10/2 バランストーンをつくろう
- 10/9・10 のぼりむしをつくろう
- 10/16・23 プラ板アクセサリをつくろう
- 10/30・11/3 どんぐりのかざりをつくろう

夜のスターウォッチング

81cm大型反射望遠鏡でいろいろな星を見てみよう！

- ★土曜日・祝前日 19:30～21:00
- ★夏休み期間中は金曜日にも実施します
- ★参加費：1人200円(幼児は無料)
- ★定員：6組または20名(先着順)
- ★要電話予約(当日でも可)

※ 悪天候の場合はプラネタリウムと星のお話です



みどころ：ベガ、アルビレオ、散開星団M11、球状星団M13、リング星雲など

テラ・ドーム通信「星空の交差点」

2022年8月号

にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

TEL 0795-23-2772

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/terra/>